



令和4年2月期 決算短信(日本基準)(非連結)

令和4年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブロッコリー

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

定時株主総会開催予定日 令和4年5月27日

配当支払開始予定日

令和4年5月30日

有価証券報告書提出予定日 令和4年5月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年2月期の業績(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-------|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 4年2月期 | 6,563 | 4.1 | 283 | 70.7 | 312 | 68.7 | 168 | 67.7 |
| 3年2月期 | 6,306 | 2.7 | 967 | 42.2 | 999 | 42.1 | 521 | 37.9 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|-------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 4年2月期 | 19.26 | | 1.7 | 1.6 | 4.3 |
| 3年2月期 | 59.66 | | 5.4 | 9.2 | 15.3 |

(参考) 持分法投資損益 4年2月期 百万円 3年2月期 百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 4年2月期 | 10,651 | 9,690 | 91.0 | 1,107.78 |
| 3年2月期 | 10,977 | 9,749 | 88.8 | 1,114.54 |

(参考) 自己資本 4年2月期 9,690百万円 3年2月期 9,749百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|-------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 4年2月期 | 453 | 514 | 228 | 3,399 |
| 3年2月期 | 453 | 3,486 | 229 | 3,621 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産配当 率 |
|-----------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|-------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 3年2月期 | | 0.00 | | 26.00 | 26.00 | 227 | 43.6 | 2.4 |
| 4年2月期 | | 0.00 | | 26.00 | 26.00 | 227 | 135.0 | 2.3 |
| 5年2月期(予想) | | 0.00 | | 26.00 | 26.00 | | 63.2 | |

令和5年2月期(予想)の配当性向は、63.2%となります。

3. 令和5年2月期の業績予想(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,300 | 4.0 | 500 | 76.3 | 530 | 69.5 | 360 | 113.7 | 41.16 |

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------|-------------|-------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 4年2月期 | 8,747,642 株 | 3年2月期 | 8,747,642 株 |
| 期末自己株式数 | 4年2月期 | 372 株 | 3年2月期 | 372 株 |
| 期中平均株式数 | 4年2月期 | 8,747,270 株 | 3年2月期 | 8,747,270 株 |

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。
- 3.当社は、令和3年12月1日を効力発生日として、当社を存続会社、完全子会社であった株式会社LANTERN ROOMSを消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財務状態に関する分析 | 3 |
| (3) 今後の見通し | 5 |
| (4) 利益配分に関する基本方針及び当期配当 | 5 |
| 2. 経営方針 | 5 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 5 |
| (2) 目標とする経営指標 | 5 |
| 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 4. 財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 貸借対照表 | 6 |
| (2) 損益計算書 | 9 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (追加情報) | 14 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (持分法損益等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当社が属するエンターテインメント業界では、国内外のスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場のゆるやかな拡大を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場が世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれておりますが、令和2年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞し、令和4年に至りましても、一部では持ち直しの動きが見られますが、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下における、当事業年度（自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日）の経営成績概況は、以下のとおりであります。

「うたの☆プリンスさまっ♪」におきましては、前年4月より全国のファミリーマートにて「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」コラボキャンペーンを開催。同月に、株式会社丸井グループ開催にてイベント「PRINCE CAT-SPRING HAS COME-」を開催いたしました。6月には10周年を記念した「UTA☆PRI EXPO-10th Anniversary-」を開催、当イベントでは、これまでの歴史を振り返る展示やステージ衣装の他、新作ミュージックビデオの上演も行い、皆様から温かいコメントを沢山頂戴いたしました。7月から夏季限定ショップ「SHINING STORE」を運営。8月には全編3Dによるライブ公演「うたの☆プリンスさまっ♪ SHINING STAR STAGE -LOVE in DREAM-」（主催：うたの☆プリンスさまっ♪ SHINING STAR STAGE製作委員会）を開催。9月は「京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2021」に出展、10月にはコスメブランド「Metamorphose」イベントを株式会社丸井グループ全国9カ所にて開催いたしました。また、株式会社ハピネットと共同企画「ブロッコリーくじうたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live Love My Idol! アナザーショットVer.」を全国のファミリーマートにて展開。さらに、令和2年4月より延期していたライブ公演「うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVELIVE 7th STAGE」を埼玉のメットライフドーム（当時）にて開催（主催：UTA☆PRI-MOVIE PROJECT）、入場規制もある中、ライブ・ビューイング、初のオンライン配信も実施いたしました。12月には「三井ガーデンホテルズ」とのコラボ企画「Grand Shining Hotel」がスタート、大変好評により期間を延長し開催を継続しております。同じく12月に株式会社バンダイナムコアミューズメント運営のCG STAR LIVE「ST☆RISH SECRET PARTY!」、「QUARTET NIGHT LIKE A GAME」が再演。12月より年明けにかけまして、株式会社アニメイトと「プロメイト」を開催。「うたの☆プリンスさまっ♪」だけでなく、「神々の悪戯」「殺し屋とストロベリー」「ジャックジャンヌ」などのグッズ販売を展開いたしました。1月からは「PRINCE CAT&ぬいスターズスペシャルイベント2022」を株式会社丸井グループにてスタートいたしました。これら多数のイベント、コラボ企画を開催いたしました結果、売上は前年並みを確保することができました。

関連CDでは、3月にQUARTET NIGHTのアイドルソング2作、6月に「うたの☆プリンスさまっ♪10th Anniversary CD」全3種、8月に「Shining All Star CD3」初回限定盤を含む全12種発売。いずれもオリコン週間シングルランキング上位にランクインいたしました。さらに、10月にHE★VENSの2ndミニアルバム「One Day」を発売。2月にShining LiveドラマCD「久遠(くおん)を結びし愛しき縁(えにし)」を発売いたしました。これらの結果、関連CDは、前年を上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

関連ゲームソフトでは、12月に「うたの☆プリンスさまっ♪All Star for Nintendo Switch」を発売いたしました。移植版としても発売タイトル数は前年より少なく、売上高、売上総利益は前年を下回りました。

3月にNintendo Switch™用ゲームソフトを発売いたしました「ジャックジャンヌ」につきましては、9月に音楽CD2作品を発売（1作品は発売元：株式会社SCHOLE）、うち当社発売の「ジャックジャンヌ VOCAL COLLECTION」は、オリコン週間アルバムランキング6位にランクインすることができました。同月、発売半年を祝う「ジャックジャンヌハーフアニバーサリー」企画を発表。アニメイト池袋本店での「ジャックジャンヌ」ハーフアニバーサリーショップ等を開催いたしました。これらの結果、Nintendo Switch™用ゲームソフトのダウンロード販売も順調に継続しており、今後も更なるコンテンツの成長に向け、新たな施策を進めております。

他社ライセンスグッズにつきましては、他社主催のライブイベントが順調に開催され始めたことや、新作TVアニメ放映に併せたグッズが好評であったこと等により、前年を上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

本年7月に発売10周年を迎えるトレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクス ジリオンズ

オブ エネミー エックス) 」は、10月に発売した「極点超越編 無限<アンリミテッドブースト>」にて行った商品構成の見直しがユーザーの高評価につながったことから、復調基調に入り、続いて10周年を記念して11月に受注を開始した通販限定カードパック「テンス・アニバーサリー」が大変好評な売上を確保した結果、前年同様の売上高、売上総利益にまで回復しました。

販売費及び一般管理費につきましては、6月に開催した10周年記念イベント運営費や新作ゲーム発売に伴う販促費が上半期において増加したこと等により、1,622百万円(前期比18.8%増)となりました。これらの結果、当事業年度の売上高は6,563百万円(前期比4.1%増)、営業利益283百万円(同70.7%減)、経常利益312百万円(同68.7%減)となりました。当期純利益につきましては、一部着手していたゲームの開発中止を第2四半期に決定し、特別損失59百万円を計上いたしましたことなどの結果、168百万円(同67.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は7,753百万円で、前事業年度末に比べ500百万円減少しております。主な内容は、売掛金の増加30百万円、その他の増加133百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少222百万円、商品及び製品の減少59百万円、仕掛品の減少120百万円、映像コンテンツの減少21百万円、前渡金の減少19百万円、前払費用の減少207百万円などの減少要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は2,897百万円で、前事業年度末に比べ174百万円増加しております。主な内容は、ソフトウェア仮勘定の増加352百万円などの増加要因に対し、有形固定資産の減少58百万円、投資その他の資産の減少132百万円などの減少要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は836百万円で、前事業年度末に比べ296百万円減少しております。主な内容は、買掛金の増加99百万円、返品調整引当金の増加4百万円、賞与引当金の増加18百万円などの増加要因に対し、未払金の減少74百万円、未払法人税等の減少168百万円、預り金の減少17百万円、未払消費税等の減少35百万円、前受金の減少117百万円などの減少要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は125百万円で、前事業年度末に比べ29百万円増加しております。主な内容は、役員退職慰労引当金の増加31百万円などの増加要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は9,690百万円で、前事業年度末に比べ59百万円減少しております。これは、当期純利益168百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度においては、営業活動において453百万円の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）を獲得し、投資活動においては514百万円の資金を使用し、財務活動においては228百万円の資金を使用しました。この結果、資金は当事業年度末に3,399百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは453百万円の資金の増加（前事業年度は453百万円の資金の増加）となりました。主な内容は、税引前当期純利益の計上による246百万円、減価償却費の計上による99百万円、ソフトウェア開発中止損の計上による59百万円、抱合せ株式消滅差損の計上による13百万円、賞与引当金の増加額5百万円、返品調整引当金の増加額4百万円、役員退職慰労引当金の増加額31百万円、たな卸資産の減少額197百万円、仕入債務の増加額97百万円、その他の増加額135百万円などのプラス要因と、固定資産除売却益の計上による6百万円、受取利息及び受取配当金の1百万円、売上債権の増加額24百万円、前受金の減少額129百万円、法人税等の支払額277百万円などのマイナス要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは514百万円の資金の減少（前事業年度は3,486百万円の資金の減少）となりました。主な内容は、定期預金の払戻による収入3,000百万円、貸付金の回収による収入7百万円などのプラス要因と、定期預金の預入による支出3,000百万円、無形固定資産の取得による支出507百万円、有形固定資産の取得による支出13百万円などのマイナス要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは228百万円の資金の減少（前事業年度は229百万円の資金の減少）となりました。主な内容は、配当金の支払額226百万円、リース債務の返済による支出2百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成30年2月期 | 平成31年2月期 | 令和2年2月期 | 令和3年2月期 | 令和4年2月期 |
|-------------------|----------|----------|---------|---------|---------|
| 自己資本比率 | 89.7 | 90.5 | 88.0 | 88.8 | 91.0 |
| 時価ベースの自己資本比率 | 191.5 | 139.2 | 132.7 | 116.1 | 89.5 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 714.1 | 1,772.1 | 1,724.7 | 3,443.3 | 4,846.3 |

(3) 今後の見通し

次期業績予想に係る新規コンテンツ動向といたしましては、本年4月4日に発表いたしました新作トレーディングカードゲーム（以下、「TCG」）のプロジェクトが始動しております。従来のTCGには見られなかった設計思想を取り入れ、約10年ぶりの「完全新作」のオリジナルTCGとして制作を進めており、期中発売を予定しております。この新作トレーディングカードゲームが「Z/X（ゼクス）」と両輪となり、カードゲーム部門の収益の柱とできるよう邁進してまいります。また、昨年11周年を迎えた「うたの☆プリンスさまっ♪」は、新作「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVE スターリッシュツアーズ」が、いよいよ本年9月2日に公開開始となり、更にテレビアニメ1時間スペシャル「うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVE スターリッシュツアーズ ～旅の始まり～」の放送が予定されているなど、本年も皆さまに楽しんでいただけるような企画を進めております。

このような状況により令和5年2月期は、売上高は、6,300百万円（前期比4.0%減）予想として前期を下回る予想になりますが、利益につきましては、営業利益500百万円（前期比76.3%増）、経常利益530百万円（前期比69.5%増）、当期純利益360百万円（前期比113.7%増）となる見通しです。

この見通しの結果、平成31年（2019年）4月12日に策定いたしました「中期経営計画」（2019年3月1日～2023年2月28日対象 ※1年延長分含む）につきましては、計画未達成とせざるを得ませんが、既存・新規IPの進捗状況や、事業環境変化を見定めながら、令和5年（2023年）春の公表を予定として次期中期計画の策定に入っております。

なお、上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在に置ける仮定を前提としております。実際の業績等につきましては様々な要因により今後大きく異なる可能性があります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして認識し、適正な利益還元の観点から中長期的な事業展開に向けた将来性・収益性の高い分野への投資と強固な経営基盤の確立のための内部留保を図っていくとともに、今後、業績や配当性向を勘案しつつ、安定的かつ継続的な利益配分を行うことを基本方針といたします。具体的には、安定的な配当額として1株あたり年間26円を下限として維持するとともに、業績に連動した配当を行ってまいります。令和4年2月期の利益配当金につきましては、普通配当金1株当たり26円を期末配当金とし、令和4年5月27日開催予定の定時株主総会にて付議する予定です。さらに中長期的に当社株式を保有する株主様のご支援にお応えするとともに、今後ともより多くの株主様に当社へのご理解とご支援を賜りたく、引き続き株主優待制度も継続してまいります。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、リアルグッズ・メーカーとしての確実な収益確保をバックボーンとしつつ、コンテンツ・メーカーとして社会に向けての夢の発信と、クリエイティブな、そしてハイリターンを視野に入れたチャレンジを実行するという2つの戦略を高次元で両立させるツインエンジン化を、事業戦略の核としております。このツインエンジン化を軸として、すべてのステークホルダーの皆様にとって存在価値あるエンターテインメント企業であることを目指してまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社は、当社の『提供価値』『存在価値』の追求、当社が保有する『強み』の追求、新しい『事業』『価値』の創造を基本戦略として、企業価値の向上に取り組んでまいります。従いまして、中期経営計画を確実な成果とし、長期的に安定した収益基盤を確立すべく、現状におきましては、営業利益率を重要な経営指標として位置づけ、その向上に取り組んでまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間での比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (令和3年2月28日) | 当事業年度 (令和4年2月28日) |
|-------------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,621,667 | 6,399,096 |
| 売掛金 | 643,426 | 673,793 |
| 商品及び製品 | 302,297 | 242,704 |
| 仕掛品 | 367,801 | 247,463 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,196 | 1,903 |
| 映像コンテンツ | 21,280 | 0 |
| 前渡金 | 22,844 | 3,175 |
| 前払費用 | 238,249 | 30,516 |
| 1年内回収予定の関係会社長期貸付金 | 9,999 | — |
| その他 | 24,767 | 157,885 |
| 貸倒引当金 | △2,629 | △2,812 |
| 流動資産合計 | 8,253,902 | 7,753,727 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,220,963 | 1,218,527 |
| 減価償却累計額 | △308,403 | △352,301 |
| 建物(純額) | 912,559 | 866,226 |
| 機械及び装置 | 6,476 | 6,476 |
| 減価償却累計額 | △3,914 | △4,342 |
| 機械及び装置(純額) | 2,561 | 2,133 |
| 車両運搬具 | 3,028 | 3,028 |
| 減価償却累計額 | △2,996 | △3,028 |
| 車両運搬具(純額) | 32 | 0 |
| 工具、器具及び備品 | 156,547 | 186,973 |
| 減価償却累計額 | △114,215 | △144,679 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 42,332 | 42,293 |
| 土地 | 907,414 | 905,994 |
| 建設仮勘定 | 10,539 | 112 |
| 有形固定資産合計 | 1,875,439 | 1,816,761 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 55,008 | 68,248 |
| ソフトウェア仮勘定 | 392,772 | 745,035 |
| 電話加入権 | 542 | 542 |
| 無形固定資産合計 | 448,323 | 813,826 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,464 | 5,184 |
| 出資金 | — | 50,975 |
| 関係会社株式 | 18,618 | — |
| 関係会社長期貸付金 | 46,666 | — |
| 破産更生債権等 | 2,000 | 2,000 |
| 長期前払費用 | 1,925 | 1,335 |
| 繰延税金資産 | 217,895 | 142,707 |
| その他 | 109,134 | 66,862 |
| 貸倒引当金 | △2,000 | △2,000 |
| 投資その他の資産合計 | 399,703 | 267,065 |
| 固定資産合計 | 2,273,467 | 2,897,653 |

資産合計

10,977,369

10,651,381

(単位：千円)

| | 前事業年度 (令和3年2月28日) | 当事業年度 (令和4年2月28日) |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 294,275 | 393,537 |
| リース債務 | 2,007 | 965 |
| 未払金 | 162,293 | 87,829 |
| 未払費用 | 57,183 | 53,498 |
| 未払法人税等 | 168,165 | — |
| 未払消費税等 | 66,195 | 30,495 |
| 前受金 | 176,810 | 59,131 |
| 預り金 | 42,424 | 24,500 |
| 前受収益 | 6,352 | 6,352 |
| 賞与引当金 | 74,274 | 92,966 |
| 返品調整引当金 | 82,182 | 86,588 |
| その他 | 780 | 450 |
| 流動負債合計 | 1,132,946 | 836,315 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 965 | — |
| 退職給付引当金 | 37,527 | 37,243 |
| 役員退職慰労引当金 | 8,666 | 39,859 |
| その他 | 48,040 | 47,920 |
| 固定負債合計 | 95,199 | 125,023 |
| 負債合計 | 1,228,146 | 961,338 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,361,275 | 2,361,275 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 2,031,275 | 2,031,275 |
| その他資本剰余金 | 35,352 | 35,352 |
| 資本剰余金合計 | 2,066,627 | 2,066,627 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 81,168 | 81,168 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 5,237,874 | 5,178,888 |
| 利益剰余金合計 | 5,319,043 | 5,260,056 |
| 自己株式 | △781 | △781 |
| 株主資本合計 | 9,746,164 | 9,687,178 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,058 | 2,864 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,058 | 2,864 |
| 純資産合計 | 9,749,222 | 9,690,042 |
| 負債純資産合計 | 10,977,369 | 10,651,381 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日) | 当事業年度 (自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | | |
| 製品売上高 | 5,542,437 | 5,952,178 |
| 商品売上高 | 26,980 | 45,314 |
| その他の売上高 | 737,101 | 565,546 |
| 売上高合計 | 6,306,519 | 6,563,040 |
| 売上原価 | | |
| 製品売上原価 | | |
| 製品期首たな卸高 | 156,626 | 302,297 |
| 当期製品製造原価 | 4,038,339 | 4,368,012 |
| 合計 | 4,194,965 | 4,670,310 |
| 製品他勘定振替高 | 109 | 450 |
| 返品調整引当金繰入額 | 4,109 | 4,405 |
| 製品期末たな卸高 | 302,297 | 242,704 |
| 製品売上原価 | 3,896,667 | 4,431,560 |
| 商品売上原価 | | |
| 商品期首たな卸高 | — | — |
| 当期商品仕入高 | 19,860 | 29,359 |
| 合計 | 19,860 | 29,359 |
| 商品期末たな卸高 | — | — |
| 商品売上原価 | 19,860 | 29,359 |
| その他の原価 | 56,209 | 195,615 |
| 売上原価合計 | 3,972,738 | 4,656,535 |
| 売上総利益 | 2,333,781 | 1,906,504 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,366,138 | 1,622,949 |
| 営業利益 | 967,642 | 283,555 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 3,086 | 1,900 |
| 不動産賃貸料 | 73,896 | 69,661 |
| その他 | 2,435 | 3,289 |
| 営業外収益合計 | 79,419 | 74,851 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 131 | 93 |
| 不動産賃貸費用 | 47,217 | 45,386 |
| その他 | 286 | 290 |
| 営業外費用合計 | 47,635 | 45,770 |
| 経常利益 | 999,425 | 312,636 |
| 特別利益 | | |
| 会員権売却益 | — | 6,103 |
| 特別利益合計 | — | 6,103 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 62 | 5 |
| 抱合せ株式消滅差損 | — | 13,165 |
| 減損損失 | 244,315 | — |
| ソフトウェア開発中止損 | — | 59,460 |
| 特別損失合計 | 244,377 | 72,631 |
| 税引前当期純利益 | 755,048 | 246,108 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 260,400 | 2,392 |
| 法人税等調整額 | △27,238 | 75,273 |
| 法人税等合計 | 233,162 | 77,665 |

当期純利益

521,886

168,442

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|--------------|-------------|--------|-------------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本 剰余金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他 利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 2,361,275 | 2,031,275 | 35,352 | 2,066,627 | 81,168 | 4,943,417 | 5,024,586 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △227,429 | △227,429 |
| 当期純利益 | | | | | | 521,886 | 521,886 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | 294,457 | 294,457 |
| 当期末残高 | 2,361,275 | 2,031,275 | 35,352 | 2,066,627 | 81,168 | 5,237,874 | 5,319,043 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | △781 | 9,451,707 | 1,428 | 1,428 | 9,453,136 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △227,429 | | | △227,429 |
| 当期純利益 | | 521,886 | | | 521,886 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | 1,629 | 1,629 | 1,629 |
| 当期変動額合計 | — | 294,457 | 1,629 | 1,629 | 296,086 |
| 当期末残高 | △781 | 9,746,164 | 3,058 | 3,058 | 9,749,222 |

当事業年度(自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|--------|---------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 2,361,275 | 2,031,275 | 35,352 | 2,066,627 | 81,168 | 5,237,874 | 5,319,043 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △227,429 | △227,429 |
| 当期純利益 | | | | | | 168,442 | 168,442 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | △58,986 | △58,986 |
| 当期末残高 | 2,361,275 | 2,031,275 | 35,352 | 2,066,627 | 81,168 | 5,178,888 | 5,260,056 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------|------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | △781 | 9,746,164 | 3,058 | 3,058 | 9,749,222 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △227,429 | | | △227,429 |
| 当期純利益 | | 168,442 | | | 168,442 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | △194 | △194 | △194 |
| 当期変動額合計 | — | △58,986 | △194 | △194 | △59,180 |
| 当期末残高 | △781 | 9,687,178 | 2,864 | 2,864 | 9,690,042 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日) | 当事業年度 (自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日) |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 755,048 | 246,108 |
| 減価償却費 | 90,625 | 99,493 |
| 減損損失 | 244,315 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △5,901 | 183 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 3,368 | 5,626 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △19,000 | — |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 13,909 | △284 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 50 | 31,193 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | 4,109 | 4,405 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,086 | △1,900 |
| 支払利息 | 131 | 93 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 62 | △6,097 |
| ソフトウェア開発中止損 | — | 59,460 |
| 抱合せ株式消滅差損益 (△は益) | — | 13,165 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 99,368 | △24,356 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △206,014 | 197,133 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △27,375 | 97,975 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △26,659 | △129,536 |
| その他 | △239,432 | 135,562 |
| 小計 | 683,517 | 728,226 |
| 利息及び配当金の受取額 | 992 | 2,797 |
| 利息の支払額 | △131 | △93 |
| 法人税等の支払額 | △230,973 | △277,889 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 453,405 | 453,041 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △45,271 | △13,735 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △447,507 | △507,474 |
| 貸付金の回収による収入 | 9,999 | 7,499 |
| 定期預金の預入による支出 | △3,000,000 | △3,000,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 3,000,000 |
| その他 | △3,462 | △583 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,486,241 | △514,294 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △226,073 | △226,184 |
| リース債務の返済による支出 | △3,231 | △2,007 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △229,305 | △228,191 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,262,140 | △289,444 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,883,807 | 3,621,667 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 66,873 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,621,667 | 3,399,096 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大については、今後の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況にあります。翌事業年度以降は消費者マインドが徐々に改善され、景気は緩やかな回復傾向に向かうものと仮定して、たな卸資産の評価、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響には不確実性があり、将来における財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の報告セグメントはエンターテインメント事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前事業年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日) | 当事業年度 (自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日) |
|------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 1,114円54銭 | 1,107円78銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 59円66銭 | 19円26銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日) | 当事業年度 (自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日) |
|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 521,886 | 168,442 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 521,886 | 168,442 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 8,747,270 | 8,747,270 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。